

# 阿波っ子タイムズ

## JR豊浜駅

(香川県観音寺市)



<24>

5月上旬には駅構内の200本のツツジがピンクや赤、白の花を咲かせ、華やいた雰囲気になる。すぐ横を列車が通り、多くの「撮り鉄」がシャッターを切っている。

旧豊浜町史などによると、植樹は太平洋戦争前の1940、41年に実施された。当時の駅長が発起人となり、町長ら4人が世話人に名を連ね、地元企業や周辺の村などから資金を集めた。

現在、ツツジは駅付近の431世帯でつくる須賀自治会が管理している。下草刈りや防虫剤散布を行っている。



## 構内に200本のツツジ

ける。

祭り会場の駅前広場は、1日の平均乗降客数600人足らずの無人駅としてはかなり広い。これは駅が開業した大正時代、物流拠点として繁栄していた名残。周辺には港や紡績、織物の工場があり、駅前には物資を運ぶ牛車がひしめいていたという。

駅から徒歩12分の瀬戸内海に面した一の宮公園では、徳島であまり見られない海に沈む夕日を眺めることができる。「恋人の聖地」に認定されている。多くの人でにぎわっている。

200本のツツジが咲き誇る豊浜駅  
—昨年5月5日、香川県観音寺市

